

環境レポート2019

富士通アイ・ネットワークシステムズ株式会社

FUJITSU I-NETWORK SYSTEMS LIMITED

Environmental Report



1. ごあいさつ

当社は、南アルプス、八ヶ岳、富士山を周囲三方に望む豊かな自然に囲まれた中に位置しております。1960年、南アルプス市に山梨工場を開設以来、富士通グループのネットワーク製品の製造拠点として半世紀以上にわたり、迅速かつ高品質なものづくりをまいりました。

早くから、「徹底したQCD追求」をものづくりの基本とした生産革新活動に取り組み、お客様の信頼にお応えすべく日々改善に努めております。

節電にも積極的に取り組み、太陽光発電(50kW)、照明のLED化、緑のカーテン、各種断熱処理、空調設備の立ち上げ分散稼働の運用等により、継続的な省エネとピーク電力削減に努めております。

地域貢献活動では、2013年から南アルプス市と協働でユネスコエコパークの緩衝地域である楡形山に『山桜の森』を整備し環境保全活動を行っているほか、夜叉神峠の登山道整備についても6年間継続して参画しております。又、構内緑化では生物多様性を考慮した県下最大級のつつじの植栽を実施しました。今後も環境マネジメントシステムの有効性を確認し、環境保全活動や地域活動を通して社会貢献に努めてまいります。



代表取締役社長
中村 裕登

2. 事業所の紹介

- 富士通アイ・ネットワークシステムズ株式会社
 - 所在地 : 山梨県南アルプス市有野3346
 - 設立 : 1943年10月18日 [株式会社長谷川電機製作所]
 - 従業員数 : 350名(連結:404名)(2019年4月1日現在)
- 主な事業内容
 - ネットワーク機器及び通信機器の製造
 - 国内・海外の各種ネットワーク製品の出荷保証とカスタマイズ
 - お客様の企画、開発計画に基づく新技術・設計・製造・試験等の提案型ビジネスの提供



3. 環境活動

■ 2018年度の活動目標と結果報告

環境目標項目		目標値	実績値	結果
1	目的: エネルギー消費CO2(電力+重油+灯油+ガソリン+軽油+LPG)の使用量をCO2換算で2017年度実績比1%削減。 (目標値UP理由: 物量増加、設備導入、作業方法の変更等による)	2, 222 t-CO ₂ 以下	2, 035 t-CO ₂	○
2	廃棄物の発生量は2012~2014年度実績(下水道化の浄化槽汚泥は除く)の平均以下に抑制する。(維持)	100t 以下	87t	○
3	社会・環境課題の解決に取り組む活動に対し、資金、人材などを支援、および環境に関わる活動を実施する。	6件 以上	7件	○



【環境保全活動】 2013年から活動している山桜の森ヤマザクラに初めて花が咲きました。

4. 節電対策

■ 前年以前からの継続的施策に加え、新たな節電対策も実施しました。

- 太陽光発電(2011年10月～)
- 空調室外機遮光シート
- 建屋遮光シート
- 屋根散水機(自動化)
- 空調機の集中コントロールによるピーク電力のシフト(夏/冬)
- 屋根特殊シート
- 室外機への外付け式凝縮器の取付
- 空調エリアの改善(ルーム毎の個別空調化)
- 構内建屋のLED照明化(73%)
- 構内外灯のLED照明化(初)
- 本業活動の中での節電(リフロー炉の温度プロファイル変更、自動倉庫導入、半田屑削減による作業の効率化 等)



■ 緑のカーテンは2010年度にスタートし、9年目となりました。

- 西1・2号棟の南面ではアサガオを中心にサンパラスルを加えて、リサイクルセンターでは野菜や瓢箪で日陰をつくりました。



太陽光発電



屋根散水 温度センサー付きタイマー
(上: 散水機、左下: 室外温度センサー、右下: 室内週間タイマー)



東4空調エリアの改善(ルーム毎の個別空調化)
<追加設備>左: 室外機、右: 天井吊り型室内機



自動倉庫の導入による
リール部品管理エリアの縮小

5. 社会貢献活動

- 2013年に南アルプス市とグリーンパートナーズシップ協定を結び、協働の森として「南アルプス 山桜の森」を作り、下草刈りと環境教育を中心とした活動を行っています。植樹した木々と共に成長する草を刈ることは大変な作業となってきました。
 - ◇6月の活動は、『山桜の森』に咲く花の名前や特徴など見て触って学習しました。ヤマザクラの花を見ることはできませんでしたが、アヤメがきれいに咲いていました。群生箇所を避け下草刈りを行い、柵網に絡まるツタの撤去も行いました。
 - ◇11月は、柵網に絡まるツタの撤去と網の補修を行いました。しっかり絡みつくツタはなかなか取りにくく、苦戦をしました。柵網沿いを森の奥まで進みながらの学習会では、珍しいカメノコテントウを見ることが出来ました。



6/2(土)『下草刈り&春の森調査体験会』
参加者: 39名



11/10(土)『秋の森自然体験会』
参加者: 36名

★南アルプス山桜の森

- ・南アルプス市 櫛形山 高尾地内苗畑地区 森全体面積: 4.3ヘクタール
- ・ヤマザクラ、モミジ



- 2012年度に始めた登山道整備活動への参加は7年目となりました。今年は楡形山北部での活動でした。山従事者の安全祈願祭に山小屋関係者の他、環境省や南アルプス市の方とともに同席しました。毎年大変な作業ですが、土地の歴史や植物、三角点の事など教えていただきながら登山道を明確にしていく作業は喜びにもつながります。
- 今年もクリスマスイベントを開催し、定時終了後の短い時間ですが近隣の方々をはじめとした多くの方に参加して頂きました。今年近隣の新聞店が発行する新聞で紹介されたおかげで、12月の総来客数は昨年より100名も増えました。



5/26・27(土・日)南アルプス楡形山北部の山道整備へ参加
参加者:6名(二日間延べ人数)



12月1日～24日:イルミネーション点灯【281名来場】
21日(金):お子様プレゼントのイベント開催

6. エコキャップ運動と、緑の募金

- 2010年度から本格的にスタートした当運動も9年目となりました(労働組合協賛)。『世界の子供たちのために』という趣旨のもと、自動販売機の近くにエコキャップ回収BOX(7か所)を設置し、年数回の回収を行っています。集まったキャップは『国土興産株式会社』へ回収依頼をし、加工売却金の一部を『JCV&ユニセフ』に届けていただいています。2018年6月13日にエコキャップの引き渡しを完了しました。
- 緑の募金は、2013年度より会社寄付から従業員募金へと切り替えました。12月の10日間を募金期間として全従業員へ呼びかけを行い、集まった募金は、募金箱をお借りした『公益財団法人山梨県緑化推進機構』様に12月26日に寄付を行いました。



エコキャップ収集場所
(ポスターと回収ボックス)



集まったエコキャップ



緑の募金箱
12/11～12/20 設置

★成果【エコキャップ運動】

・提供量・・・68.0kg(約29.6千個) ・CO₂抑制・・・214.2 kg-CO₂ ・ポリオワクチン・・・27人分

★成果【緑の募金】・募金額・・・21,108円

7. 環境月間

- 環境月間の活動として「環境講演会『SDGsとパリ協定の達成にむけて』」を開催しました。
『SDGs』は、世界共通の持続可能な開発目標として重要な事なのですが、まだ、触れる機会がとても少ないように感じます。まずは、SDGsを知ることが出来たと思います。2030年のゴールを目指しここが出発です。

【講師：富士通 環境企画統括部 青山信秀統括部長】



環境月間垂れ幕

2014年度から『環境月間』を知ってほしい！と始めた活動です。ポスター、垂幕の掲示、個人用リボンの着用、放送など6月の1か月間、環境を意識するために役立っています。



環境講演会【6月25日】参加者：31名

SDGsを「知らなかった」、「言葉だけ知っていた」が81%を占め、「難しかった」「何をしたらよいかはつきりわからなかった」という感想が多く、今後の課題となりました。

8. 環境に関わる法規制の順守状況

法改正の速やかな把握により自社の事業活動に関わる法規制を確実に維持管理しています。
また、法規制に基づく所轄官庁への報告、届出の実施等、法規制を確実に順守しています。

■ 地下水の水質検査

- 地下水：2018年4月10日と10月16日に地下水モニタリングを実施し、規制基準を順守していることを確認しています。
- 今年度より土壤汚染対策法の地下水基準に則り、『クロロエチレン』を調査対象物質に追加しました。

物質名	地下水基準(mg/L)	2018年度内最大測定値	結果
1.1-ジクロロエチレン	0.1以下	0.001未満	○
シス-1.2-ジクロロエチレン	0.04以下	0.001未満	○
1.1.1-トリクロロエタン	1以下	0.01	○
トリクロロエチレン	0.01以下	0.002	○
クロロエチレン	0.002以下	0.0002未満	○

■ 騒音および振動の測定

- 騒音及び振動の測定を敷地境界において2018年7月30日に実施し、規制基準を順守していることを確認しています。

年月日	区分		自主基準値	山梨県条例値	2017年度内最大測定値	結果
2018.07.30	騒音	朝	53	55	45	○
		昼	57	60	48	○
		夕	53	55	47	○
		夜	45	45	43	○
	振動	昼	55	60	30未満	○
		夜	50	55	30未満	○

9. 環境方針

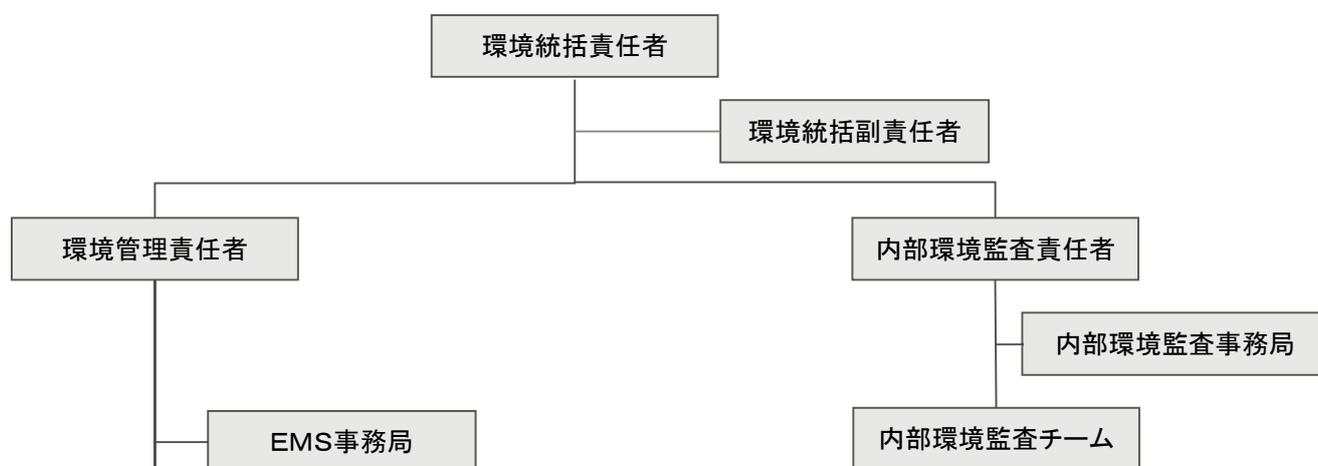
当社は、南アルプス、ハヶ岳、富士山を三方に望む自然豊かな南アルプス市に位置する企業として、環境保全が企業の重要課題であることを認識し、豊かな自然を次の世代に残すことが出来るよう、地球にやさしいよりよい企業活動を積極的に推進します。

■ 基本方針

1. 環境に与える影響を常に把握し、環境関連法、条令を順守します。さらに化学物質や廃棄物による汚染の予防や生物多様性保全を始めとした地球環境保全活動に努めます。
2. ISO14001に準拠した環境マネジメントシステムを構築し、環境により良い事業活動を推進するとともに、継続的な維持改善を実施します。
3. 温室効果ガス排出抑制計画チャレンジ事業者として、「山梨県地球温暖化対策条例」に基づいた取り組みを行います。
4. 第9期富士通グループ環境行動計画に基づく事項(i、ii)と独自事項(iii)について重点的に取り組みます。
 - i 温室効果ガス排出量の削減
 - ii 廃棄物発生量の抑制
 - iii 社会貢献／環境啓発活動の推進
5. 上記重点項目を具体的に推進するため環境目的・目標を設定し、組織的活動により達成を目指す取り組みおよび見直しを継続的に行います。
6. この方針は、教育・社内広報活動を通して当社内での業務に従事する全員に周知を行い、環境意識の高揚を図ります。

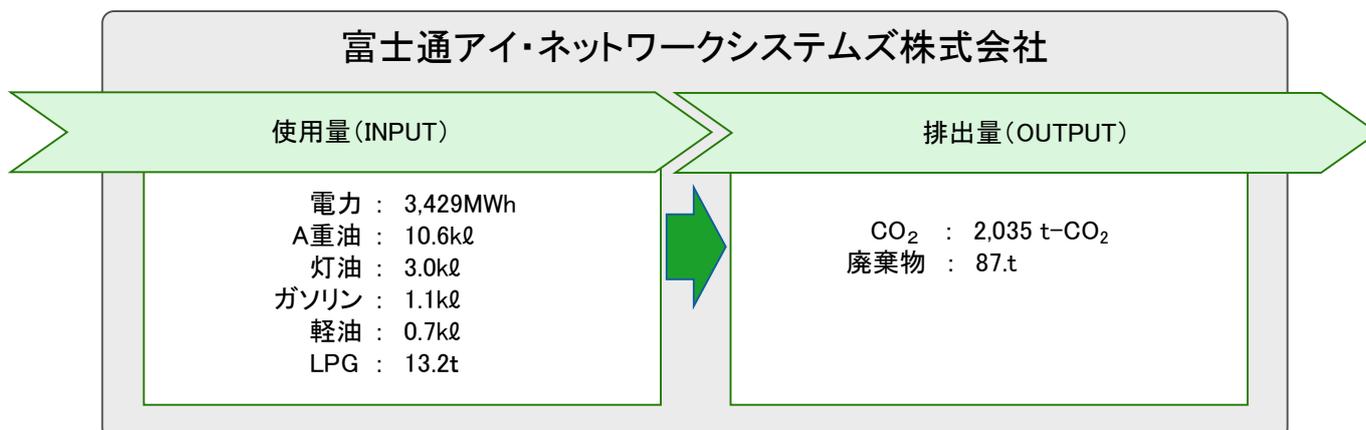
10. 環境活動に対する対象組織

- 組織構成は3社、派遣を含む458名(2019.4.1時点)となっており、活動体制は下図の通りです。



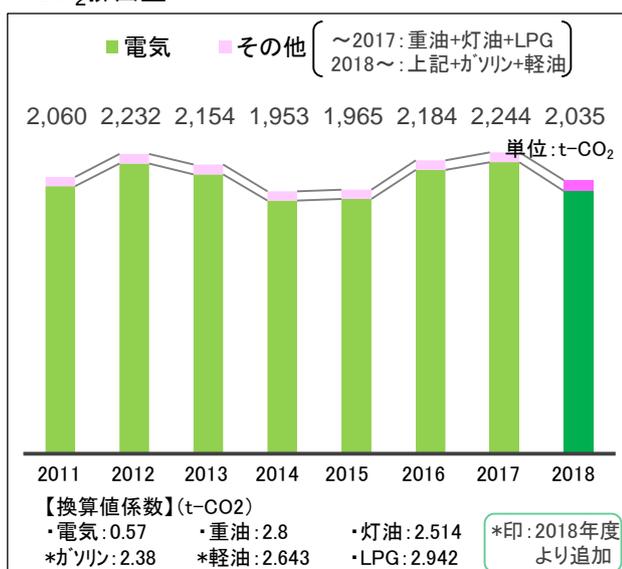
部門名称	部門構成
コーポレート部門	人事総務、人材開発、経理、環境施設管理
ビジネス推進部門	テクニカルサポート、ビジネス推進、NIビジネス推進、生産、購買、ビジネスサポート、ビジネスソリューション
製造部門	製造ソリューション、製造
品質保証部門	生産革新・IoT推進、品質保証、NIサービス
エフ・エイチ・ビジネスサポート部門	(株)エフ・エイチ・ビジネスサポート
エフアイ・テック部門	エフアイ・テック(株)

11. マテリアルバランス

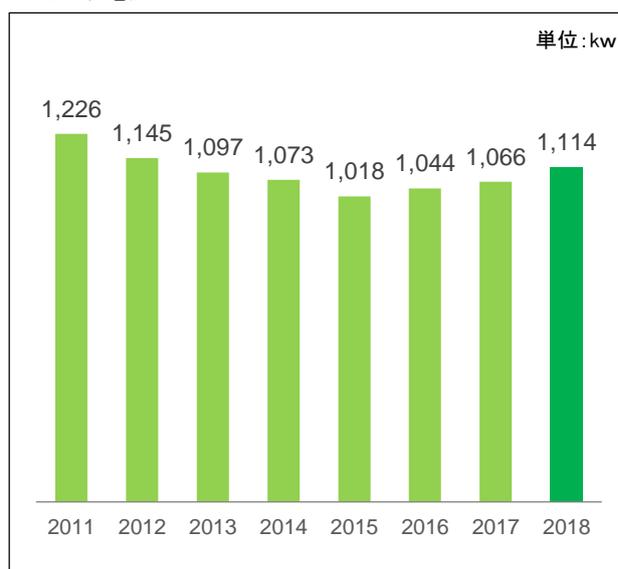


12. 環境負荷データの経年推移(主要な取り組み事例)

■ CO₂排出量



■ ピーク電力



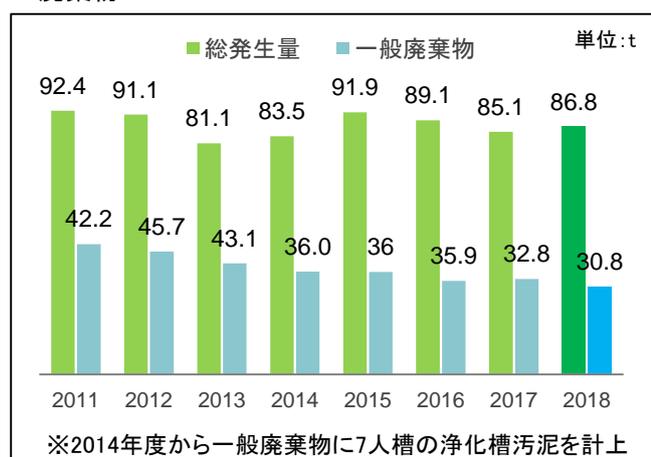
★ 節電対策

- ① 遮光シート取付(空調室外機/屋上/建屋南壁面)
- ② 遮熱系節電対策(屋根特殊シート/屋根散水)
- ③ 東4空調エリアの改善(ルーム毎の個別空調化)
- ④ LED照明化(全体の73%実施済)
- ⑤ 太陽光発電・・・62,775kwh/2018年度発電量
- ⑥ 本業活動の中での節電
(半日屑削減による作業の効率化 等)

★ ピーク電力低減への取り組み

- ① 空調機の集中コントロール化
 - ・ 空調機の立ち上げ分散稼働
 - ・ 建屋特性格別温度管理
- ② 監視機能付き無線ロガー温湿度計による室内環境管理

■ 廃棄物

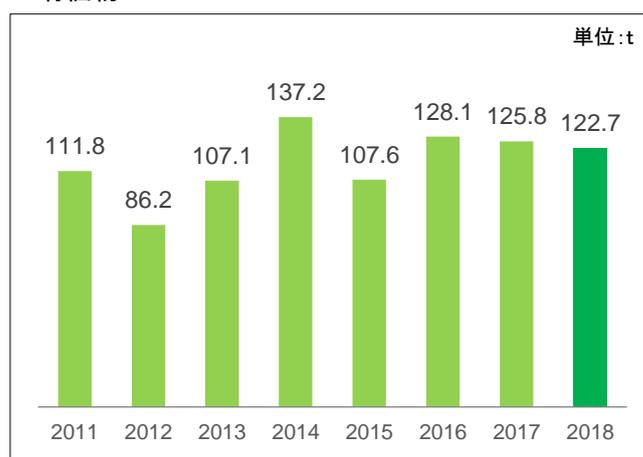


★ 資源の再活用

- ① 有価物化の促進(分別の推進)
- ② 紙類の有価物化推進

★ 増加の懸念⇒廃プラスチックの廃棄物化
(中国の廃プラスチック輸入禁止措置の影響)

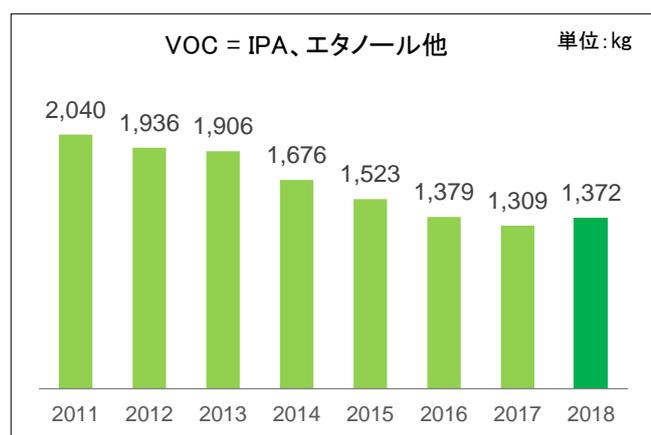
■ 有価物



★ 主な有価物

- ① 紙、段ボール
- ② 線類、廃設備等の金属類
- ③ 半田くず
- ④ 捨て基板、PPプラスチック等の廃プラスチック

■ 揮発性有機化合物(VOC)の購入量



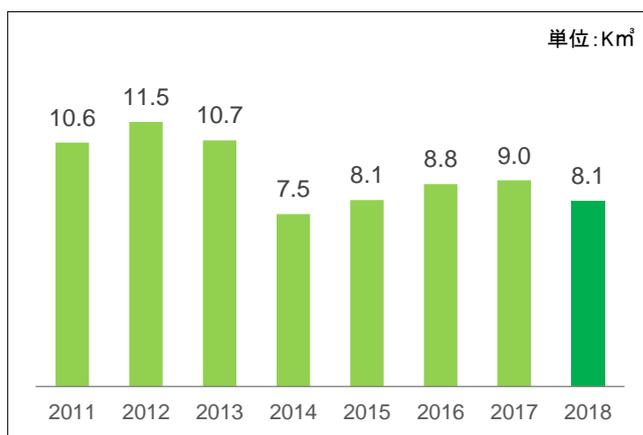
★ VOC削減の取り組み

- ① IPA使用管理表の作成
⇒異常値早期把握による改善推進
- ② かんぱん方式での購入量管理
- ③ IPAからHA2789への切替の推進
(半田槽搬送チェーンの洗浄液変更済み)

★ 増加要因

既存ビジネスの物量増加、新規ビジネスの対応

■ 水の使用量



★ 上水のムダ排除

- ① 一部の鉢植えの花に雨水を利用した散水実施
- ② 構内法面花壇への的確な自動散水の実施
※工場用水は『0』
ほとんどが生活用水での使用

お問い合わせ先

富士通アイ・ネットワークシステムズ株式会社

環境施設管理部
〒400-0226 山梨県南アルプス市有野3346
TEL:055-285-0383 FAX: 055-285-0314

発行責任者 中村 裕登
編集責任者 金丸 昇
発行年月日 2019年 5月 21日
記載事項対象期間 2018年4月～2019年3月
報告URL: <http://www.fujitsu.com/jp/finet/>

